

利 用 報 告 書

課 題 名 (英 文 名)	企業行動の国際比較分析
	International Comparative Analysis on the Behavior of Corporations An Empirical Study
利用 者 名	道明 義弘 (社会学部 教授)
<p>1. 研究目的・内容 日本および米国、カナダ、世界各国の企業についての財務データベースを利用し、企業行動を分析し、行動比較を試みる。</p> <p>2. 研究方法・計算方法 日本政策投資銀行「企業財務データバンク」、S&P's COMPUSTAT、S&P's GLOBAL Vantageのデータをパソコンを用いて処理し、SPSS、TSP等の統計処理ソフトを用いて計算処理を行うことによって、企業行動の解明を試みる。</p> <p>3. 研究成果 本年度は日本企業について、その行動を解明する手がかりとなる下記のような成果を得た。</p> <p>4. 発表・出版実績または予定 「新興市場企業の営業損益をめぐる行動分析－動的パネル分析の基礎としての個別決算集計データにみるその姿－」道明義弘・伊藤研一・井澤裕司 奈良大学紀要、第34号、2006年3月 「企業行動と動的パネル分析」道明義弘・伊藤研一・井澤裕司 奈良大学情報処理センター年報 第16号 2006年3月</p>	